井の頭恩賜公園景観形成基本設計

広域公園・景観計画・景観重要公共施設

景観形成のテーマ

清冽な水と季節感に彩られた
武蔵野の景観の
保全と再生

人々の記憶に
さりげなく馴染む景観づくり

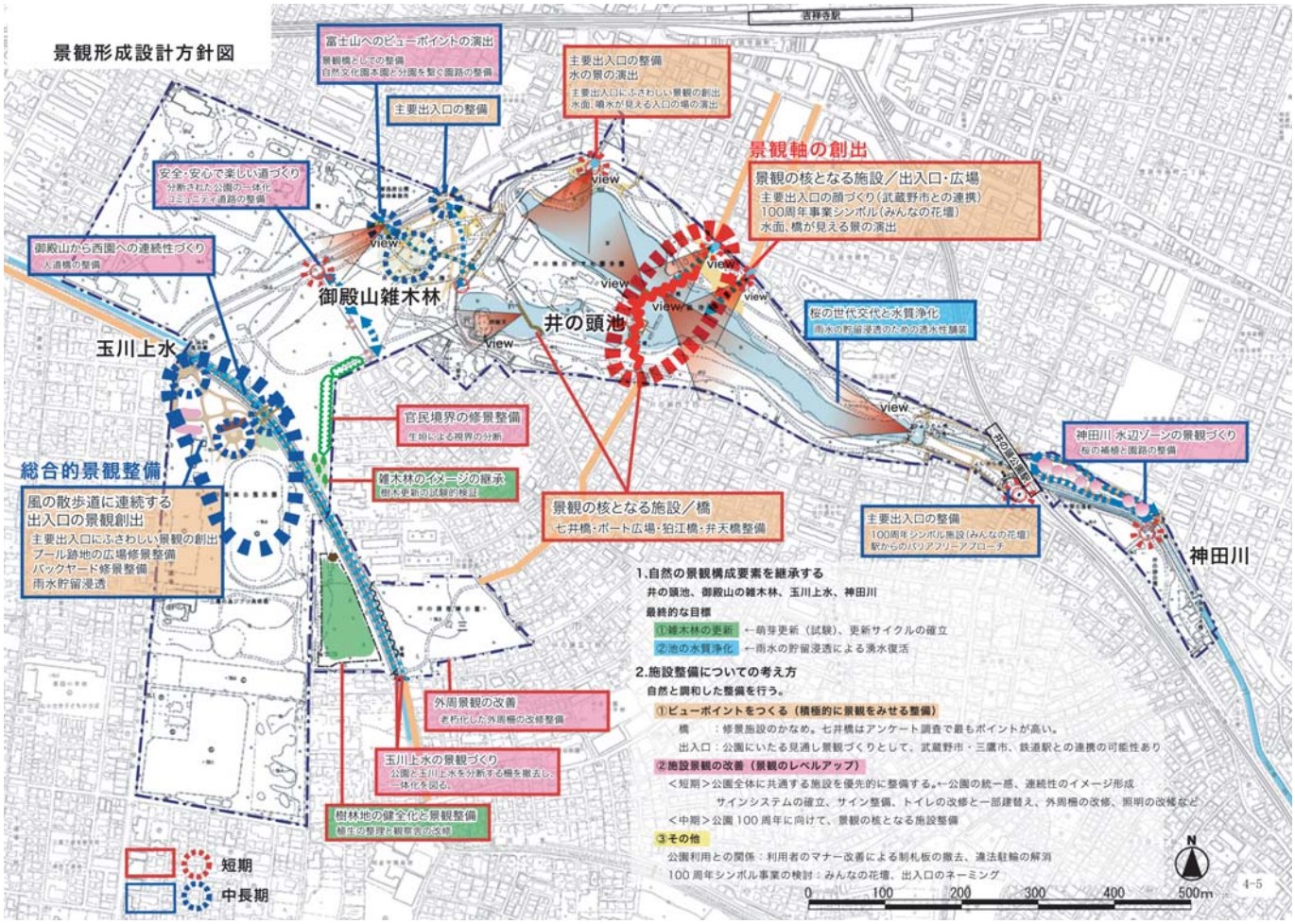
■主旨・内容

井の頭恩賜公園は、大正6年(1917)の開園した日本最初の御下賜公園地であり、日本最初の郊外公園として長い歴史をもっており、我が国の都市公園史において重要な公園である。

本公園は、東京都景観計画（2008年4月改訂版／東京都都市整備局）において、景観法第8条第2項第5号ロに規定する景観重要公共施設の一つに指定された。景観重要公共施設とは、地域の景観形成の核となる公共施設である。

本業務では、井の頭恩賜公園の景観現況調査を行い、園内の景観形成にあたり配慮する与条件を整理した上で、園内施設整備の基本設計を行うものである。

基本設計にあたり、井の頭恩賜公園の景観現況調査と与条件の整理を行い、その結果を基本設計に反映させ、景観重要公共施設にふさわしい景観を形成するために必要な整備内容の提示と、整備の優先付け、概算工事費の算出を行った。また、ゾーンごとに景観整備図を作成した。



■景観形成の考え方

○本公園の最大の景観資源は、水と緑の自然系資源である。施設系資源は、それを取り巻くもので、公園利用上の機能を与えるもので、景観上は基本的には添景である。
○景観形成では、これらの好ましい景観を保存、育成、継承し、好ましくない景観を修景、改善する。
○本来のあるべき景観を求め、方策を検証する（雑木林）。
○公園景観に新たな魅力を加える（夜の景、西園）

■諸元

公園名称： 井の頭恩賜公園
施主 ： 東京都
所在地 ： 東京都武蔵野市御殿山
敷地面積： 39ha
対象面積： 27ha
業務内容： 基本設計
設計期間： 2008.10～2009.03

プロポーザル特定業務